

## 小金沢山山行報告

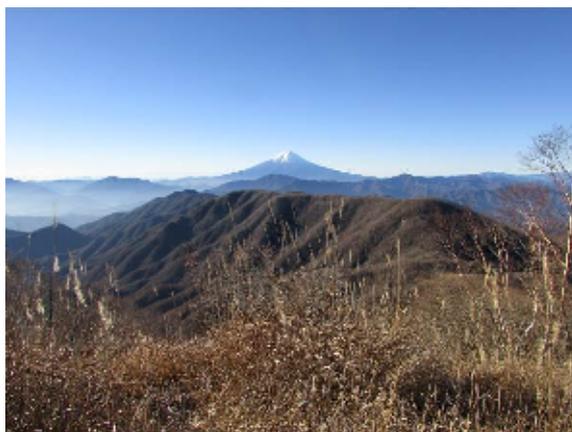
【山行日】2018年11月15日(木) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 4:00

【費 用】マイカー2台 : 4,200円

【メンバー】CL:鈴木、安西、大西、岡、関口、福島

【コースタイム】岩舟支所 P4:00=湯ノ沢峠 P6:55/7:15  
~白谷丸 8:00~黒岳 8:45/8:55~牛奥ノ雁ヶ腹摺山 9:40/9:50~小金沢山 10:30/10:40~牛奥ノ雁ヶ腹摺山 11:30/12:05~黒岳 13:10/13:20~湯ノ沢峠 14:30/14:40=岩舟支所P17:45



今回は滝子山を計画したが、「滝子山は岩場の急登があり、下りのスミ沢もザレていて嫌だ」と言われ小金沢山に変更して計画した。ところが登山口の湯ノ沢峠に行く焼山真木林道が、台風の影響で通行止めになっていた。山梨県の峡東林務環境事務所に電話し、林道の状況を聞くと「日川林道



を整備し通行できるようにしたのでこちらから行ってほしい」と言われる。調べてみると上日川ダムまで県道大菩薩初鹿野線を北上し、日川林道を南下して湯ノ沢峠に行くので12Km 遠回りとなる。出発時間を早め4時に岩舟支所を出発し、圏央道から中央道を走り勝沼 IC から日川林道経由で湯ノ沢峠の駐車場に着いた。

駐車場は未舗装だが十数台ほど止められ、立派なバイオトイレが併設されている。トイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。

湯ノ沢峠まではほんのひと登りで着き、ここから尾根道を北に向かって登って行く。花崗岩が風化した登山道を登って行くと、カヤトのドームとなり大展望が開ける白谷ヶ丸の山頂に出る。南に秀麗な富士山が望め、西方には南アルプスの山々が甲府盆地の上に、横一線に聳えている。

展望を楽しんだら北に向かって下り、モミヤシラビソ等の尾根をひと登りすると黒岳山頂に着く。展望はきかないが、一等三角点が置かれているのでかつては展望の良い山だったに違いない。ここから苔むした深い樹林帯を進み、長い下りの底に着いたところが賽ノ河原と呼ばれる平坦地だ。ここからは笹に覆われた登山道を登り、明るく開けたピークに飛び出す。

牛奥ノ雁ヶ腹摺山のピークで、ここからの眺望も素晴らしい。南側が開け、富士山を始め南アルプスの山々が一望の下眺められる。



秀麗富岳12景に選ばれており、山頂の標識に「山名が日本一長い山」と書いてある。展望を楽しみ



ながらカキやリンゴをいただき、疲れた体にエネルギーを補給する。ここからは樹林帯と明るい笹原を交互に繰り返し、アップダウンの道を進むようになる。最後の急坂を登り切り、着いたピークが本日の最高峰小金沢山山頂である。この山も秀麗富岳12景に選ばれており、樹林の間から端正な富士山を眺めることが出来る。今日は快晴の天气に恵まれて、雲一つない青空に日本一の富士山が終日眺められ、皆さん大満足の様子だった。

富士山の眺望を楽しんだら下山し、往路を戻り牛

奥ノ雁ヶ腹摺山に向かう。復路は南に向かって進むので、富士山を眺めながら歩け「本当に良い山だね～～」と話しながら軽快に下って行く。

アップダウンを繰り返し進み、明るいピークに飛び出したところが牛奥ノ雁ヶ腹摺山のピークで、ランチタイムとする。定番のキノコうどんを作り、富士山を眺めながらとても美味しくいただいた。富士山を「これでもか！」と言うくらい眺められ、キノコうどんで腹も満たされ湯ノ沢峠に向かう。今日は皆さん元気で、誰一人「疲れた」と言わずに快調に歩いていた。黒岳を登り返すと大きな登りは無く、最後に白谷ヶ丸で休憩しリンゴやチョコを食べながら富士山の眺望を楽しんだ。カヤトの道を下り、元気なOさんとF島さんが展望台を往復し、無事に湯ノ沢峠に下山した。この秋一番の快晴恵まれ、素晴らしい富士山を堪能でき大満足の山行だった。

